



Local Cooperator

地域おこし協力隊活動日誌 vol.30

オートキャンプ世界大会に参加しました！

先日、福島県天栄村の羽鳥湖高原で開催された第89回 FICC（国際キャンピング・キャラバン・オートキャラバン連盟）オートキャンプ世界大会に参加しました。このイベントは、キャンプ愛好者が言語や民族、国家の違いを越えて集まり、キャンプを通して交流することを目的に、毎年開催されています。日本での開催は25年ぶり、3回目で14か国の国や地域から延べ4,000人が集まったそうです。

大会期間中は、毎日朝から夜まで多くのプログラムやイベントが用意され、トレッキング、天体観望会、民芸品の制作などを体験しました。空いた時間は、翻訳機を片手にいろいろな国の人とおしゃべりを楽しみ、その中でもフィンランドから

来ていた人と友だちになりました。仲よくなったきっかけは「サウナ」です。フィンランドには公衆サウナの文化があり、子どもからお年寄りまでサウナが大好き。自分で建てたサウナの写真を見せてもらい、たくさん話を聞かせてもらいました。大会に参加してからのマイブームは「フィンランド」です。

飛雪の滝キャンプ場では、今シーズンもテントサウナを行っています。テントの中で薪ストーブを焚くと80℃以上になるので、その後滝つぼに入って体を冷やすととても気持ちがいいです。日帰りでも利用できますので、ぜひテントサウナを体験してみてください。



01. 開会式の様子。02. 裏磐梯エリアのトレッキング。03. コテージには参加者たちの国旗や地図が飾られていました。04. 各国のパフォーマンス大会も開催。

Police 紀宝警察署 からのお知らせ

「犯罪被害者支援を考える集い」を開催

この集いは、犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に伴い開催され、犯罪被害者遺族が置かれている立場、事件後、困ったことなどについて、直接聞くことができる貴重な機会です。

入場は無料で、事前申込もありません。

- ◆開催日 12月17日（火）
午後1時30分から4時まで
- ◆開催場所 三重県人権センター 多目的ホール
（三重県津市一身田大古曾693番地1）
- ◆お問い合わせ先
みえ犯罪被害者総合支援センター 059-213-8211

紀宝警察署（☎33-0110）

Resources ごみは資源 のコーナー

食用油は、そのまま捨てないで！

揚げ物や炒め物などで使用した食用油は、市販の凝固剤で固めるか、新聞紙や紙類・布類などに浸み込ませて「燃料ごみの日」に出してください。

食用油をそのまま台所に流してしまうことは禁物です。水質の悪化を招くほか、排水管の詰まりの原因になるので、絶対に流さないでください。

ポイント

ポリ袋やレジ袋などに新聞紙が吸油性のよい紙を入れてから、冷ました食用油を入れると簡単に浸み込ませやすいですよ！



役場環境衛生課（☎33-0338）



シリーズ 浄化槽

きれいな川を 未来に残そう その147

毎年1回法定検査を受けましょう

法定検査は 浄化槽の健康診断

浄化槽を設置しても、きれいな処理水を保つためには、保守点検・清掃（くみ取り）・法定検査といった維持管理が欠かせません。

なかでも、毎年1回、定期的に受けていただきたいのは、法定検査（11条検査）は、浄化槽がきちんと維持管理され、正常に機能しているかを調べる浄化槽の健康診断のような大切な検査です。法定検査は、保守点検とは目的や作業内容が異なり、浄化槽管理者（個人設置型の場合は個人、市町村設置型による町営浄化槽整備推進事業の場合、管理者は町となります。）が保守点検業者と委託契約をしても、指定検査機関による法定検査が必要です。

何でも聞いてください



環境衛生課 中野良太

町営浄化槽のここがポイント!!

町管理の場合はハガキで通知

県の指定検査機関による法定検査は、町営浄化槽の場合、年間を通じて、浄化槽の維持管理スケジュールに合わせる形で行われています。法定検査が近づいてくると、ハガキで「〇月〇日に実施します」という通知が届きます。当日、本人が不在でも、清掃の状況などの管理情報は、町などで確認することができるので、そのまま検査を行うことができます。

法定検査は、管理者の責任として定められている保守点検や清掃がきちんと実施されているか、浄化槽の機能が正常に発揮されているかどうかを調べるもので、指定検査機関の定期検査を

毎年1回受けることが、浄化槽法でも義務付けられています。詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。



Eco シリーズ ストップ地球温暖化 その120 家庭でできる温暖化対策 ~できることから始めよう~

今月のテーマ テレビ

こまめに画面の掃除をしましょう



画面は明るすぎないように 液晶テレビ（32インチ）の画面の輝度を最適（最大→中央）に調節した場合

年間削減効果	年間節約金額
電気 27.1 kWh CO2 9.5 kg	約600円

【出典：財団法人省エネルギーセンター/家庭の省エネ大辞典】

テレビは、一般的に画面が大きいものや多くの機能を備えているものほど消費電力が増えます。見ていないときは消すようにしましょう。また、画面を明るくしすぎても電力の無駄使いになります。画面が暗いと思ったら、明るさを調節する前に、画面の掃除をしましょう。テレビ画面は静電気でホコリを寄せ付けやすく、画面がホコリなどで汚れて暗くなっているときがあります。乾いた布などで定期的に掃除をしましょう。詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。